

市政に関する一般質問

今定例会では、28名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に対し意見や施策の提案をします。質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載していきます。



会派名 議員氏名
一般質問の表題
質問の番順

問 (質問の要約)

○
○
○
○
○
○
○
○
○
○

答 (答弁の要約)

○
○
○
○
○
○
○
○
○
○

通告事項の要約



自由民主党 須賀 昭夫 1
指定山車増加に対する考え

問文化財保護審議会への諮問を行っていくとのことだが、市指定の文化財山車が増えることについて、行政はどのように考えているのか伺いたい。

答市長 伝統ある川越まつりを将来の世代に引き継ぐためには、川越まつりの醍醐味である絢爛豪華な山車を後世に保存していくことが大変重要なことであり、市指定の文

化財の山車が増えることは、市民の郷土愛や祭りに対する意識の向上、町内の山車保存意識の啓発等に寄与するものと考えている。また、川越まつりの魅力が一層高まり、観光客の増加に伴う経済効果の拡大にもつながるものと考えている。

問今後、各行事やイベントの開催による地域活性化を推進しなければならぬと思うが市の考えは。

答総合政策部長 地域の活性化のためには、イベント開催は効果的な取り組みの一つであると考えられる。新型コロナウイルスによる影響で、これまで多くの行事やイベントが中止となった。現在、各行事やイベントの再開に



自由民主党 牛窪 喜史 3
地域を活性化するイベント

答市民部長 埼玉県警察のアンケートによると、痴漢などの性犯罪の被害に遭った人の約9割が、警察に届け出をしていないという結果もあり、被害者がいわゆる泣き寝入

りしている現状があるものと認識している。痴漢は立派な犯罪であるという認識を深めるとともに、社会全体で痴漢を許さない、撲滅するための取り組みを推進しなければならぬと考えていることから、さらなる周知啓発活動および情報発信等に努めていく。



無所属 真美子 2
痴漢を許さない社会へ

問痴漢は実態把握がなされておらず、卑劣な犯罪行為が繰り返されている。痴漢は許さないという強いメッセージを発信すべきだが、見解を伺う。

答保健医療部長 令和元年度から産学官連携事業として、企業の従業員食堂のメニューを減塩や野菜を多く含んだものに改善し、1日1食取り入れるだけでも、一定の効果



自由民主党 中野 敏浩 4
減塩配慮の食生活の定着へ

問社会保険費の抑制には健康寿命延伸が重要。特に食塩の過剰摂取を控えることが効果的と考えるが減塩に配慮した食生活の取り組みについて伺う。

答上下水道局長 水道普及率は、ほぼ100%に達しており、水道事業が果たすべき使命は建設・拡張から、将来にわたり安全安心な水環境を提供するための維持・管理へ



自由民主党 村山 博紀 5
持続可能な本市の水道事業

問和歌山市の水管橋崩落事故は水道設備の老朽化が原因と考えられているが、重要なライフラインである水道事業の課題を踏まえた今後の経営は。

また、将来の人口減少や、節水意識の向上等による水需要の減少により、事業経営は厳しさを増していく中、老朽化施設の更新・修繕や、耐震化の推進などによる自然災害への対策は急務であることから、これまで以上に効率的な経営に努めていく。

問山車の文化財指定

答山車の文化財指定